

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	くら・らぼ多機能型事業所(児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 1日		～ 2025年 2月17 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数) 30
○従業者評価実施期間	2025年 2月 1日		～ 2025年 2月17 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 18日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	キャンプや周年祭、餅つき大会など季節毎の様々な活動がある。また、地域の方や小規模保育所、放課後デイサービス、児童発達支援、高齢者施設など世代間交流が行えることが強みだと思う。定期的な畑行事や誕生日会、交流会など他事業所との交流がある。	「ちょっと頑張ったらできた」を大切にして活動内容を計画している。季節に沿った活動や子どもたちの興味のあるものを取り入れた活動など楽しみをもってもらえるように工夫をしている。	今後も強みである世代間交流を大切にして活動や行事を計画していく。
2	SNSを使った情報発信や活動報告などを行っている。	ただ情報を発信するのではなく、子どもたちの日々の様子にプラスして活動のねらいや意図などが伝わるように心がけている。	職員によって投稿の得意不得意の差が大きく負担となっているので、作成マニュアル作成をおこなう。
3	定期的に参加日を行い、今年度は親子での活動に重点をおいている。また、参観後に懇談の場を作り保護者同士の交流を行っている。	家庭では、親子での時間が取れないとの声をいただいていたので、今年度の参観は親子での活動を多く取り入れた。毎回参加してくださる人数も多く「家ではできない経験ができたのでよかった」や「声掛けの方法がわかった」「子どもの成長を感じた」などたくさんの感想をいただいている。	今後は、カフェや保護者のみの会の開催を検討していきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練。	災害発生時の備えや避難訓練は行っているが、保護者の方への周知方法や掲示の仕方を工夫する必要があると感じる。	非常時の対応や訓練等の計画について、分かりやすい保護者の方向けの資料の作成や掲示をする。
2	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明。また、発生を想定した訓練が実施。	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアルなど、職員へ周知徹底、子どもたちと訓練の実施をおこなっているが、保護者の方への周知方法や掲示の仕方を工夫する必要があると感じる。	非常時の対応や訓練等の計画について、分かりやすい保護者の方向けの資料の作成や掲示をする。
3	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会。	ペアレントトレーニングは行っていないが、参観日等でかわり方などのお話をさせていただいている。また、先輩お母さんのお話として参加していただく機会を作っている。	今後も保護者の方に参加していただける勉強会の企画を実施していく。